

薬品処理木材

Chemically-treated timber

西暦(YEAR)	生産量(m ³) (対前年比%)	出荷金額(百万円) (対前年比%)
2006	264,139(99.3)	28,536(101.9)
2007	223,175(84.5)	25,416(89.1)
2008	202,057(90.5)	28,155(110.8)
2009	174,091(86.2)	23,502(83.5)
2010	183,328(105.3)	24,750(105.3)
2011	177,025(96.6)	23,900(96.6)
2012	191,718(108.3)	25,880(108.3)
2013	200,595(104.6)	27,080(104.6)
2014	188,655(94.0)	25,470(94.1)
2015	173,929(92.2)	23,480(92.2)

日本木材防腐工業組合

注) 2008年までの出荷金額は工業統計による。

(需要動向)

- 上記生産量の数字については加圧注入処理のみの組合員による報告数字であり、加圧処理以外(浸漬処理、吹きつけ処理等)及びアウトサイダーの数量は含まれていない。
従って防腐処理全体の数量は増えてきている。
- 防腐数量の増加については土木資材関係が伸びてきている。
・地盤改良としてスギの丸太に防腐処理して使用。
・公園の施設関係の物件が伸びてきている。
- 2020年のオリンピック、パラリンピックには国立競技場他に木材が多く使用される事が既定されており、これにより防腐処理木材が仕様される事で需要の拡大が見込まれる。

集成材

Laminated wood

西暦(YEAR)	生産量(千m ³) (対前年比%)	生産金額(億円) (対前年比%)
2006	1,675.2(110.8)	1,756.0(106.0)
2007	1,346.5(80.4)	1,582.4(90.1)
2008	1,292.8(96.0)	1,509.6(95.4)
2009	1,249.3(96.6)	1,304.3(86.4)
2010	1,454.6(116.4)	1,695.6(130.0)
2011	1,455.3(100.0)	1,712.6(101.0)
2012	1,524.0(104.7)	1,682.3(98.2)
2013	1,646.5(108.0)	—
2014	1,555.0(94.4)	—
2015	1,484.5(95.5)	—

日本集成材工業協同組合

(需要動向)

2015年は集成材の国内需要が伸び悩む中、高レベルの集成材製品の輸入もあり、各社減産を行うなど需給調整を強いられたことなどから生産量は減少した。

住宅建築用木製組立材料

Wooden assembling materials for housing

西暦(YEAR)	出荷金額(百万円) (対前年比%)
2006	415,089(109.8)
2007	455,501(109.7)
2008	436,050(95.7)
2009	373,169(85.6)
2010	389,145(104.3)
2011	372,049(95.6)
2012	421,398(113.3)
2013	466,184(110.6)
2014	501,517(107.6)
2015	—

工業統計

木製建具

Wooden fixtures

西暦(YEAR)	産出事業所数	出荷金額(百万円) (対前年比%)
2006	3,367	318,855(96.1)
2007	3,154	325,515(102.1)
2008	3,260	292,462(89.8)
2009	2,748	234,785(80.3)
2010	2,457	209,872(89.4)
2011	2,227	186,872(89.0)
2012	2,485	210,271(112.5)
2013	1,607	217,795(103.6)
2014	2,033	243,595(111.8)
2015	1,913	226,286(92.9)

全国建具組合連合会

注) 数値は工業統計表と全国建具組合連合会の調べによる。

(需要動向)

2015年は前年にあった消費税増税に伴う駆け込み需要の反動から出荷額が減少した。新築住宅の需要が戸数の充足を受けて緩やかに減少していくことが予想され、将来はリフォーム需要の取り込みが必要になる。

石油ストーブ

Oil-burning space heaters

西暦(YEAR)	生産量(千台) (対前年比%)	生産金額(百万円) (対前年比%)
2006	6,343(110.7)	62,799(118.5)
2007	4,353(68.6)	48,539(77.3)
2008	2,865(65.8)	32,909(67.8)
2009	3,950(137.9)	42,249(128.4)
2010	4,323(109.4)	49,354(116.8)
2011	5,823(134.7)	62,078(125.8)
2012	5,515(94.7)	59,998(96.6)
2013	4,742(86.0)	51,277(85.5)
2014	3,166(66.8)	35,907(70.0)
2015	3,601(113.7)	40,627(113.1)

鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計編

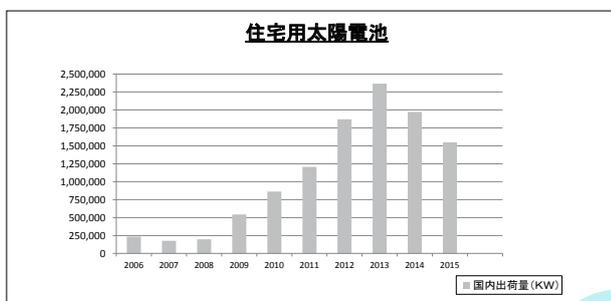
住宅用太陽電池

Solar batteries for housing

年度 西暦(YEAR)	国内出荷量(KW) (対前年比%)
2006	235,337(87.2)
2007	176,550(75.0)
2008	196,931(111.5)
2009	543,708(276.1)
2010	862,223(158.6)
2011	1,205,900(139.9)
2012	1,868,969(155.0)
2013	2,367,037(126.6)
2014	1,973,187(83.4)
2015	1,547,317(78.4)

太陽光発電協会

注) 暦年を年から年度に訂正した。



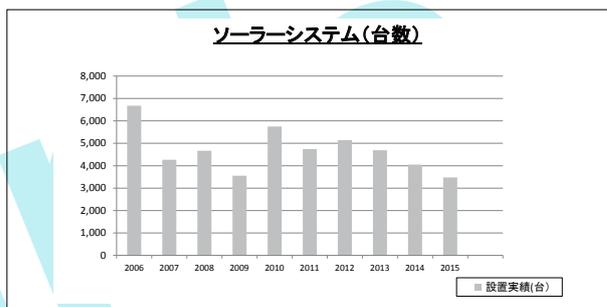
ソーラーシステム

Solar systems

西暦(YEAR)	設置実績(台) (対前年比%)
2006	6,674(65.1)
2007	4,264(63.9)
2008	4,666(109.4)
2009	3,553(76.1)
2010	5,749(161.8)
2011	4,745(82.5)
2012	5,138(108.3)
2013	4,691(91.3)
2014	4,053(86.4)
2015	3,474(85.7)

ソーラーシステム振興協会自主統計

(需要動向)
漸減傾向が続いている。地域的には設置実績の多い中部、関東の減少傾向が大きい。



(参考) ソーラーシステムエリア別状況 (2015年)
Solar systems

エリア	設置実績(件)	比率%
①北海道	14	0.4
②東北	71	2.0
③関東	917	26.4
④北陸	22	0.6
⑤中部	1,529	44.0
⑥近畿	182	5.2
⑦中国	381	11.0
⑧四国	90	2.6
⑨九州	268	7.7
⑩国外	0	0.0
合計	3,474	100.0

ソーラーシステム振興協会自主統計

